

森林セラピー通信

森のたより

(一社)飯南町観光協会
☎76-9050



夏、なぜか夏場の森林セラピーの利用者が少ない傾向にあります。一般

夏の森林セラピーの醍醐味

的に「夏」「暑い」「虫が多い」などのイメージが多いのかもしれませんが、実は夏場の森林セラピーはおすすめなんです。

ご存じの通り、飯南町の平均標高は450〜500メートルですが、森林セラピーを体験できる「飯南町ふるさとの森」は、500メートル以上の平均標高で、まさに高原の避暑地。森の中は、適度な木漏れ日と木陰で冷やされたそよ風が吹き抜けるのでさらに快適です。そんな中でハンモックに揺られる体験は至福。夏こそその森林セラピー、おすすめです。

安全柵の修理

「飯南町ふるさとの森」のきのこ園入り口にある安全柵の修繕が終わりました。他にも、皆さんに安心して楽しんでもらえるように、伸び過ぎたウルシや落石の除去、枯木の除伐など、日々さまざまな点検を行っています。



文化を感じるまちへ 飯南町文化協会

事務局(教育委員会内) ☎76・3944

飯南町文化協会に加盟している団体の活動を紹介。今月は「ISS(飯南ステージサポート)」です。

舞台は、舞台の主役である「キャスト(出演者)」と、そのキャストが最高のパフォーマンスを発揮できるように、舞台・音響・照明、それぞれの技術で支える「舞台スタッフ」で成り立っています。

舞台技術は、本来、奥深い「プロ」の世界ですが、日本では大きなホールなどでの公演を除き、舞台芸術に「お金を掛ける」という認識や発想が乏しく、この世界で「プロ」として生活できる人は限られ、特に公演や発表の機会が少ない地方ではそれが顕著です。

現在、飯南ステージサポートは、会員4人のうち、3人が主に音響、1人が舞台・照明を担当し、年数回、文化協会関連の催事などの依頼を受け活動しています。

今後は、各分野の技術をさらに習得し、スタッフも育成しながら、より質の高い舞台技術を、安定的に提供できるようにしたいと思います。



文化協会主催の「舞台スタッフ研修会」の様子(令和4年度)

俳句

琴峯華句会 六月の作品から

尺蠖の尺取り尽くし枝の先 安部 豊枝
久闊を叙す友とあり苜蓿園 石田シヅカ
おぶわれて声はずむ吾子青田風 佐々木康子
ハンモック揺らして過る峽の風 土池 博子
十葉を咲く時だけは好きになる 朽木 豊子

森青葉見上ぐる空を狭うして 松平富美子
曲道見ている道や栗の花 八嶋 敏江
さざ波をやり過ごしては早苗植う 山碓智恵美
青田波またあおたなみ肩車 八嶋 昭男

短歌

赤名短歌会 六月例会詠草

花びらを合わせて眠る白ぼたん昼には見せぬ花の静けさ 石田フクエ
若者と子どもの姿に心はずむただ頼もしき笑みこぼれおり 門所 詠子
若くして介護のために嫁ぎしと義母は自らを唾ひてをりし 清原 豊明
身障の宿命背負いし老いの身を支えてくる子等ありてこそ 本間 麗子
頬にくる風は温とし山畑の隅に桑の実あまく熟れらむ 澤田久美子
今そこに夢かうつつか富士の山すそ野引き連れ雲より出づる 鳥田 勝信
野の花は野にありてこそ風情ありわが庭に咲きしササユリに想ふ 吉川 暎子
いつの間に背の丈程のヒメジオン上向きに咲く墓地一面に 星野 敦子
「琴峯華」のトップバッターヒットあり来島をデッサン八人の星 澤田 勝登

すこやかに 6月届出分
新生児 届出人 地区
塚原 啓仁(誠) (獅子)



「家族でつくる人権標語」優秀作品から

願うのは
平和な世界
ぼくらの未来

赤名小6年 小野那佑太さん
家族名 大輔さん

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

今月の表紙

3日間の通学合宿。まず行われたのは、チームで協力するゲームです。参加した児童は3チームに分かれ、どのチームがスポンジを高く積み上げられるか勝負です。全チーム、スポンジは倒れてしまつたけれど、「私のチームが一番高いよ」と言つて、最後はスポンジを持ち上げ、みんな笑顔になりました。(5ページに関連記事)



やすらかに 6月届出分
お名前 親族 地区
和田 照男様(89) トミ子(川 恵
後長 博子様(92) 良 司(角 井
三島千代子様(89) 朋 彦(佐 見
岸野 福徳様(93) 昌 士(上赤名
矢島 清様(93) 隆 司(赤 名
石田 量三様(94) 修 司(下赤名
日高ミヨコ様(88) 由美子(上赤名)